

ドクターに聞く!

評判の

漢方治療



なんだかイライラ がおさまらない…

月経前の神経症状は
PMSかも

女性の中には、訳もなくイライラ感や不安感などの精神神経症状に苦しむ人がいます。月経の3~10日前（黄体期）になると落ちかず、怒りっぽくなるなどの症状は「月経前症候群（PMS）」であると考えられます。

黄体期には、女性ホルモンの一つである黄体ホルモンが誘因となり、神経伝達物質・セロトニンが低下します。セロトニンは他の神経系に抑制的に働くことで、過剰な興奮や衝動、抑うつ感を軽減し、落ち着きや安定感をもたらします。このセロトニンが不足するためにイライラ感や不安感を引き起こすと考えられています。

また、更年期の女性の中にもイライラ感や不安感のほか、落ち込み、抑うつなど心

の不調を訴える人がいます。女性ホルモンの分泌量が正常値であっても精神神経症状が表れるケースもあり、原因ははっきりと特定できていません。

精神安定を促す 「加味逍遙散」

このような女性特有の神経症状には、漢方薬が有効です。処方の助けとなるのは、患者さんの「証」（体质や状態）を見極める漢方医学的な診断です。体格や顔色、腹の固さ、舌の状態、脈などをよく見て判断します。証に合った漢方薬は、1~2週間ほどで効果を出します。好転しない場合は「誤治」（証の見立て違い）の可能性が高いため、診断をやり直して別の

薬を処方します。

イライラに効く漢方薬の定番は、「加味逍遙散」です。冷え症や肩こりにも効果があります。心の中に怒りをため込み、攻撃的になりやすい人には「抑肝散」を勧めます。便秘があり、よくのぼせる人には、「三黄瀉心湯」が合います。

更年期の女性の中には急に気力がなくなり、なぜか物悲しくなる人もいます。そのような場合は、「柴胡加竜骨牡蠣湯」で、

更年期に起こりやすい症状

血管運動神経症状	ホットフラッシュ、動悸（どうき）、頻脈、発汗、手足の冷えなど
精神神経症状	イライラ、不安、落ち込み、抑うつ、不眠、意欲の低下、集中力の低下など
運動器関係の症状	肩こり、腰痛など
消化器系の症状	食欲不振、吐き気、おう吐など
生殖器系の症状	不正出血、月経量の異常、性交痛、外陰部の違和感など
泌尿器系の症状	頻尿、排尿痛など
全身症状	のどのつかえ感、頭痛、肥満、やせ、むくみ、体の違和感（アリが（よう）な感じ）など

「女性のための漢方～更年期ってなに？～」Kampo view より

女性のための漢方のポータルサイト

Kampo view

漢方ビュー

検索

www.kampo-view.com



わたしがお答えします！

藤井レディースクリニック理事長 藤井 恒夫さん

ホルモンバランスの乱れ が原因かも。我慢せず医師に相談を

心が安定するのを助けます。

一人一人に対応した オーダーメイド治療

漢方治療は、例えば同じイライラ感や不安感がある患者さんでも、その患者さんの症状の違いや体质などを医師の診察によって見極め、いくつかの選択肢の中から一人一人に合った漢方薬を処方・服用することで、初めて効果を発揮します。

そのため、同じイライラ感でも処方される漢方薬は患者さんによって変わってきます。まさに漢方治療は、患者さん一人一人の症状・体质に合せた「オーダーメイド治療」といえるのです。

西洋薬に比べて リーズナブル

2千年以上もの昔から今に伝わる漢方

薬は、臨床経験の中で効能と副作用が検証され、有用なものだけが現代に伝承されてきました。多彩な生薬を組み合わせて作られているため、複数の症状を同時に軽減できます。さらに、体が正常な状態からそれのを防ぎ、調整してくれるのも大きな特徴です。一つの症状に切れ味鋭く効く西洋薬と使い分けて使うこともできます。

現在、健康保険適用の漢方エキス顆粒剤は148種類もあります。費用がリーズナブルなものも魅力で、医療費を軽減できる可能性もあります。（※健康保険が適用されない場合もあるので、事前に相談してください）

漢方治療は適切な処方をすれば、女性特有の不定愁訴に優れた効果が期待でき、QOL（生活の質）向上にも役立ちます。漢方専門医のいる病院を受診し、証に合った処方を受けることをお勧めします。

第3回「冷え症」は9月25日火に掲載します（予定）



ふじい・つねお 1949年下関市生まれ。75年広島大医学部を卒業後、国立県病院・中国がんセンター産婦人科医長などを経て2005年に藤井レディースクリニック開業。日本産科婦人科学会産婦人科診療ガイドライン作成委員会委員。日本東洋医学会漢方専門医。医学博士。

藤井レディースクリニック
〒730-0031 広島市中区紙屋町2-2-6-4 F
<http://www.fujii-ladies-clinic.jp/>

イライラ(神経症)に よく使われる漢方薬

加味逍遙散

かみしょうようさん
ホルモンバランスを整え、イライラなどの神経症のほか手足の冷えや倦怠（けんたい）感などに適応します。

抑肝散

よっかんさん
イライラや不眠などの精神神経症状を抑えます。手足のふるえ、けいれん、子どもの夜泣きなどに適応します。

柴胡加竜骨牡蠣湯

さいこりゅうこうづばいとう
神経の高ぶりを鎮め、心身の状態を整えます。精神不安などの神経症状や不眠、動悸（どうき）がある人に用います。

